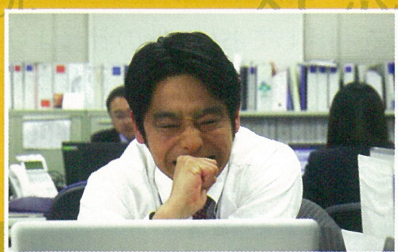


# 自他尊重の コミュニケーションと 職場の人権

## 2

相手の立場で考える



上映時間:23分 | 価格:69,300円(本体66,000円) | 解説書・ワークシート付 | 字幕版同時収録 | 商品コード[C#3136]

※消費税の変動により販売価格は変更の可能性があります。



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17 <http://www.toei.co.jp/edu/>



この教材では、職場で体験しがちな身近なエピソードを切り取り、

それぞれの異なる立場の登場人物にスポットをあて、

お互いを尊重するコミュニケーションの大切さを考えていきます。それぞれのエピソードでは、お互い悪意はないのにコミュニケーションの不全から職場環境が悪化する状況になります。

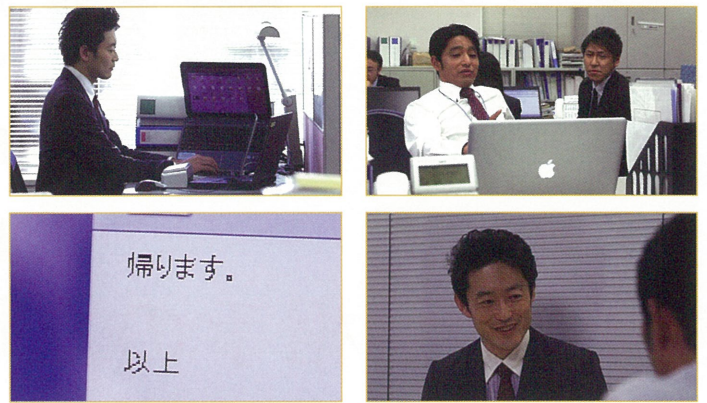
自分も相手も大切にするコミュニケーションとはどんなものなのかを考えてみましょう。

### 「好意が重すぎるっ!」



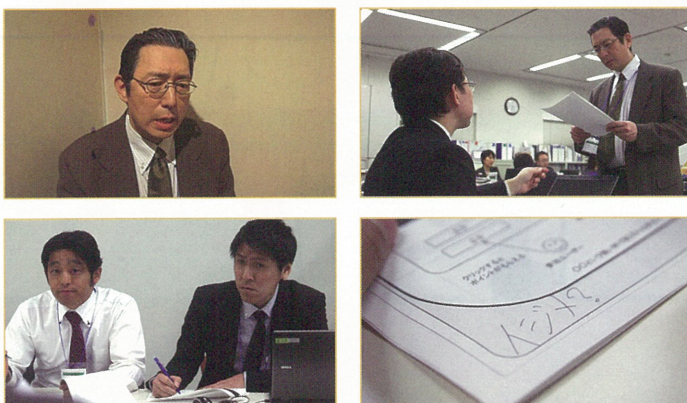
先輩社員の太田は、途中入社した同い年で同性の岸本に好意を持って接しているが、その親切が岸本にとってだんだん重荷になってくる。

### 「理系って冷たい?」



ソフトウェアの大村のメールはいつもぶっきら棒。営業の中田は、あまりにメールが冷たいことにいつもイライラしてしまう。

### 「年上の部下、年下の上司」



新しい室長の大江が異動してきた。古参社員の夏目は面白くない。大江の指示に従わないだけでなく、真っ向から否定的な態度にでてしまう。

### 「ワーク・ライフ・バランス」



中田は、育児時短制度を利用しており、他の社員よりも早めに帰る。そのことで、大事な仕事を任せてもらえなかったり、出世に影響してしまったりするのではないかと、不安に襲われる。

撮影:白石 晋也 | 照明:香川 和代 | 音声:岡本 洋平/阿保 毅 | 音響効果:引地 康文 | MA:高橋 友樹 | 編集:加藤 雄一  
プロデューサー:中鉢 裕幸/釜谷 正一郎/木下 勢治 | 脚本:監督:前田 和男  
制作協力:アマゾンラテルナ | 企画・制作:東映株式会社 教育映像部

2013年作品

 東映株式会社 教育映像部

<http://www.toei.co.jp/edu/>

関東営業推進室 〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17 TEL.03-3535-3631  
関西営業推進室 〒530-0001 大阪市北区梅田1-12-6 TEL.06-6345-9026  
広島出張所 〒730-0015 広島市中区橋本町5-2 TEL.082-511-2066  
福岡出張所 〒810-0801 福岡市博多区中洲4-3-18 TEL.092-262-3101

■お買い上げは…